

令和4年度の予算の概要

「発動！ 幸田の未来の幸せ志向プラン」

「明日のために、次世代のために、今すべきことを」



新型コロナウイルス感染症が依然として大きな影響を及ぼしていますが、それでも社会は前を向き、コロナ後の新しい社会に向けて歩み続けています。

令和4年度当初予算は、皆さんの命と暮らしを守り、ダイナミックな社会の変化に対してもスピード感をもって応え、笑顔あふれる幸田町の未来をつかみ取る予算を編成しました。

明日のために、次世代のために、今すべきことを。「幸田の未来の幸せ志向プラン」を発動します。

一般会計

一般会計予算は、町が行う事業の大部分が該当する予算です。町税や国・県などからの収入をもとにして、教育や福祉サービス、道路や施設の整備などに役立てる予算で、皆さんの生活に最も深く関わっています。

特別会計

特別会計予算は、特定の収入によって特定の事業を行うための予算です。町には、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計の6つの特別会計があります。

公営企業会計

公営企業会計予算は、一般の企業と同じような方法で経理を行う予算です。公営企業は、経営によって得られた収入で事業を行っていて、町では、水道事業会計と下水道事業会計が該当します。

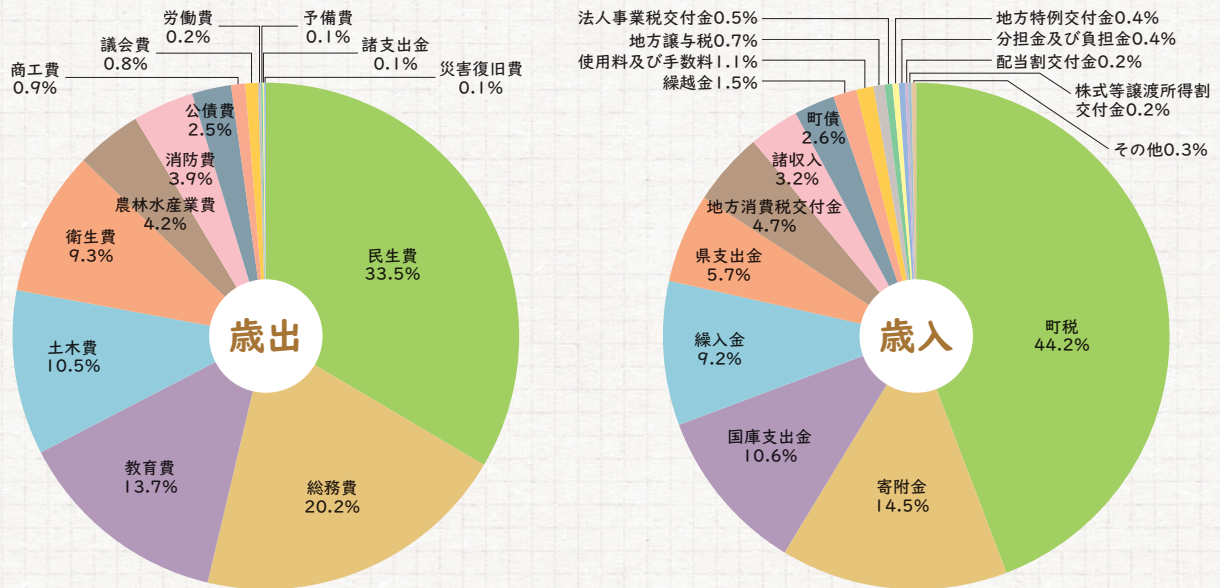
令和4年度当初予算

(金額単位：千円)

会計区分			令和4年度	令和3年度	伸び率(%)
一般会計			19,400,000	18,020,000	7.7
特別会計	土地取得特別会計		1,074,988	295,861	263.3
	国民健康保険特別会計		3,362,775	3,272,663	2.8
	後期高齢者医療特別会計		591,403	521,823	13.3
	介護保険特別会計		2,201,180	2,127,237	3.5
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計		92,331	210,736	▲ 56.2
	農業集落排水事業特別会計		378,860	373,631	1.4
公営企業会計	水道事業会計	収益的支出	786,600	770,089	2.1
		資本的支出	458,807	412,787	11.1
	下水道事業会計	収益的支出	719,193	680,250	5.7
		資本的支出	627,070	431,796	45.2
合計			29,693,207	27,116,873	9.5

令和4年度幸田町一般会計 予算総額194億円

歳入歳出構成比



歳出

費目別に見ると、民生費が全体の33.5%を占め、次いで総務費20.2%、教育費13.7%となっています。民生費は扶助費の増加や南部地域包括支援センターの整備などにより、対前年度約3億7千万円の増加（6.0%増）。総務費は役場庁舎非常用発電機の更新やコミュニティの推進などにより、対前年度約3億4千万円の増加（9.4%増）。教育費は深溝小学校整備事業やアニメツーリズム事業などにより、対前年度約1億9千万円の増加（7.9%増）をしており、歳出全体では13億8千万円増（7.7%増）となりました。

歳入

最も大きな割合を占める町税は、対前年度7.8%増の約85億7千万円を見込みました。近年では町税に次いで大きな収入となっている寄附金（ふるさと納税）は、前年度と同額の28億円を見込んでいます。国庫（県）支出金は総額で約31億6千万円の交付を受ける予定です。財源が不足する部分については、基金（貯金）から約13億8千万円の繰入れ（取崩し）をして補います。町の借金にあたる町債は、建設工事や中央公園の整備などに取り組むために、約5億1千万円を借り入れる予定としました。

主な区分の内容

歳入（1年間のすべての収入）

【町税】町民税、固定資産税、軽自動車税など皆さんから納められるお金

【寄附金】町に対して無償で贈られるお金（ふるさと納税も寄附金になります）

【国庫（県）支出金】特定の事業の財源の一部として、国（県）から町に支払われるお金

【繰入金】基金（貯金）からの取崩しや、特別会計からの繰入れをするお金

【町債】大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金（借金）

歳出（1年間のすべての支出）

【民生費】子育ての支援や医療・福祉サービスなどに使われるお金

【総務費】まちづくりの推進や町の財産の管理、町職員の給与などに使われるお金

【教育費】小・中学校やハッピーネス・ヒル・幸田の運営、生涯学習講座などに使われるお金

【土木費】道路や公園づくり、土地区画整理などに使われるお金

【衛生費】ごみ処理や環境保全、予防接種や健康推進に使われるお金

【公債費】町債（借金）の返済に使われるお金

幸田の未来の幸せ志向プランを



行政手続オンライン化

事業費：675万円

これまで役場窓口で行わなければならなかった行政手続を自宅などからオンラインで行うことができるように、順次整備を進めていきます。令和4年度は、マイナンバーカードを利用した子育て、介護、被災者支援に関する27種類の手続のオンライン申請を目指し、皆さんがデジタル社会の利便性を大いに感じとれるように取り組んでいます。

新生児聴覚検査

事業費：232万円

赤ちゃんの耳の聞こえにくさを早期に見出し、適切な医療や教育などの支援につなげることは赤ちゃんの言葉と心の成長のためにとても大切です。町では令和4年度から新生児聴覚検査の費用の一部を助成し、子どもたちの健やかな成長を支援します。



中央公園整備

事業費：7,080万円

町民の憩いの場所として親しまれている中央公園。町の中心的なこの都市公園の魅力をさらに高めていくために、現在、再整備に取り組んでいます。令和4年度は、グラウンド外周園路の舗装や照明施設の整備、カフェエリアの駐車場整備を進めることで、公園の利便性を高めていきます。

深溝小学校整備

事業費：6,985万円

深溝学区では土地区画整理事業などの住宅地開発が進み、児童数の増加が見込まれています。加えて、小学校では1クラスの上限を40人から35人への変更も進んでいます。こうした状況に対応するため、深溝小学校整備構想を策定し、校舎の増築を行います。令和4年度は、校舎の増築工事の設計や事前の準備工事を進めていきます。



新エネルギーシステム 設置費・次世代自動車 購入費補助金

事業費：1,262万円

町では2月に、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取り組みを着実に進めていくことを表明しました。この取り組みのひとつとして、一般家庭で新エネルギーシステムを導入したり環境にやさしい次世代自動車を購入する場合の補助制度を令和4年度から拡充します。

アニメツーリズム

事業費：760万円

クールジャパン・コンテンツとして、今や国内のみならず世界的にも多くのファンを集める日本のアニメ。町のすてきなスポットや歴史ある史跡などをアニメコンテンツに登場させるように仕掛けていき、その情報発信力を活用して、地域の魅力再発見と町の活性化につなげていきます。



発動します

問合せ 財政課 財政グループ ☎(0564)62-1111(内線324) FAX(0564)63-5139